

インフルエンザの発生状況(富山県)

【第 1 週(2024/12/30~2025/1/5) 感染症発生動向調査速報値 (2025/1/9 時点) 】

定点医療機関※新規患者報告数: **622** 人、定点医療機関当たり **13.82** 人

※インフルエンザ/COVID-19定点(小児科29定点、内科16定点)

(人/定点)

図1. 患者報告数の推移(富山県)

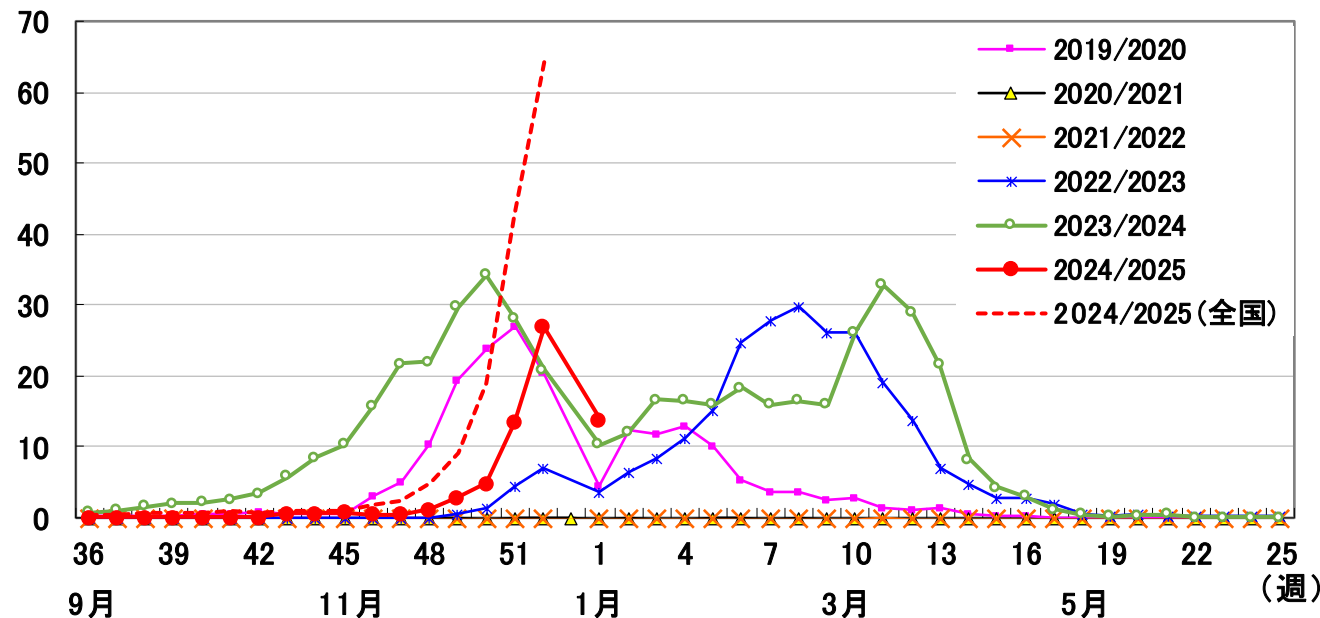
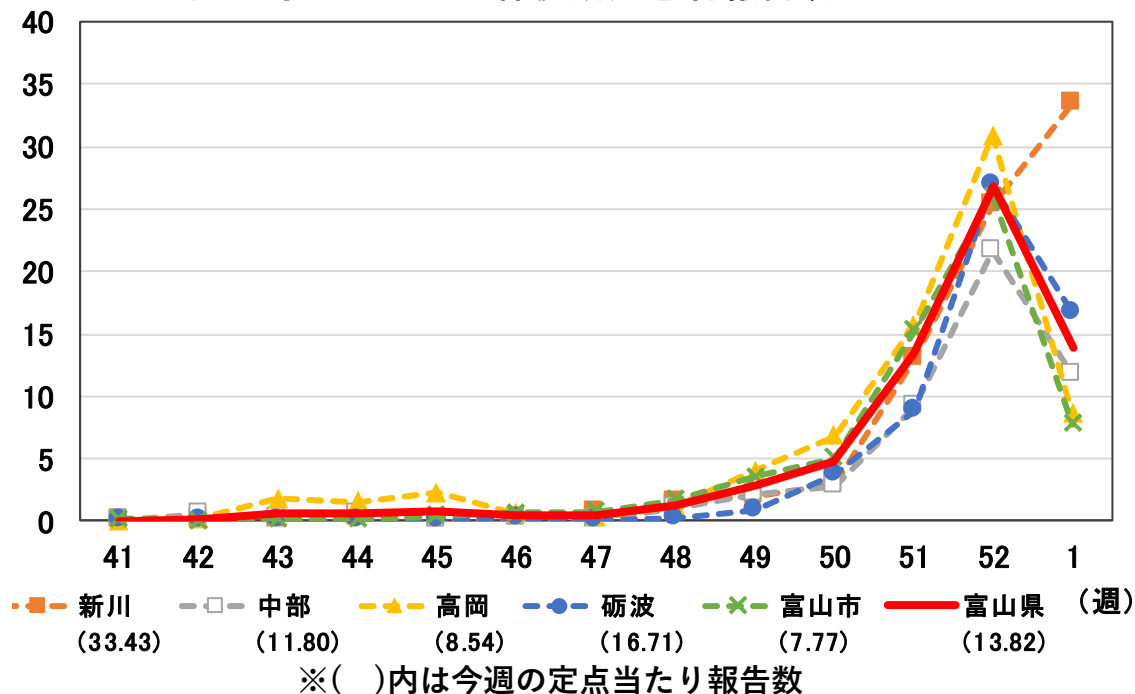


図2. 厚生センター・保健所別患者報告数



- 富山県の患者報告数(図1)は今週13.82人/定点となり、先週(26.90人/定点)から減少した。なお、年末年始に定点医療機関が休診した影響により、流行状況を過小評価している可能性がある。
- 厚生センター・保健所別に見ると(図2)、新川管内以外では先週から減少した。一方、新川管内では、先週から更に増加し、警報レベルの基準である30人/定点を超えた。

図3. 年齢階級別インフルエンザ報告数の推移（富山県）

図3-1. <20歳

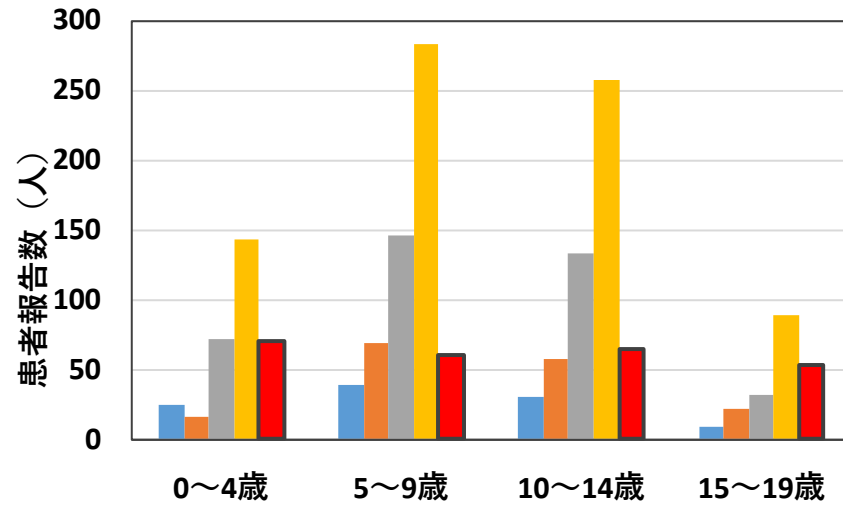
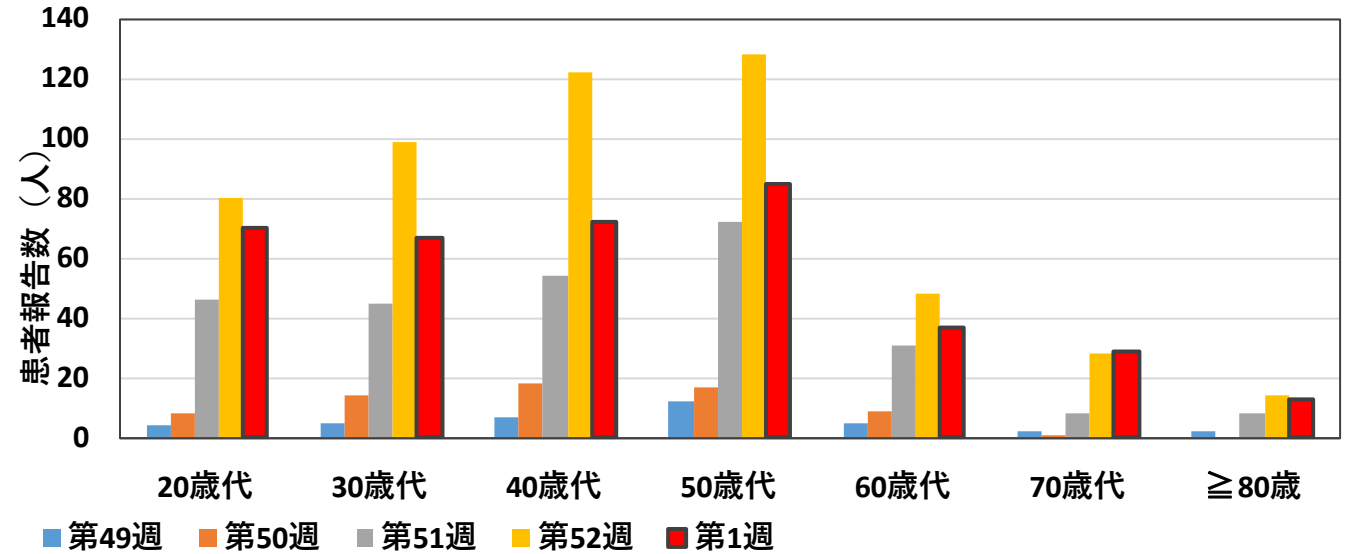


図3-2. ≥20歳



※定点医療機関は小児科が多い（小児科：29定点、内科：16定点）ことから、小児の報告数は成人と比較して過大評価となることに留意する必要がある。

- 70歳代以上を除くすべての年代で、先週から減少した。

図4. 都道府県別インフルエンザ報告状況(第52週)

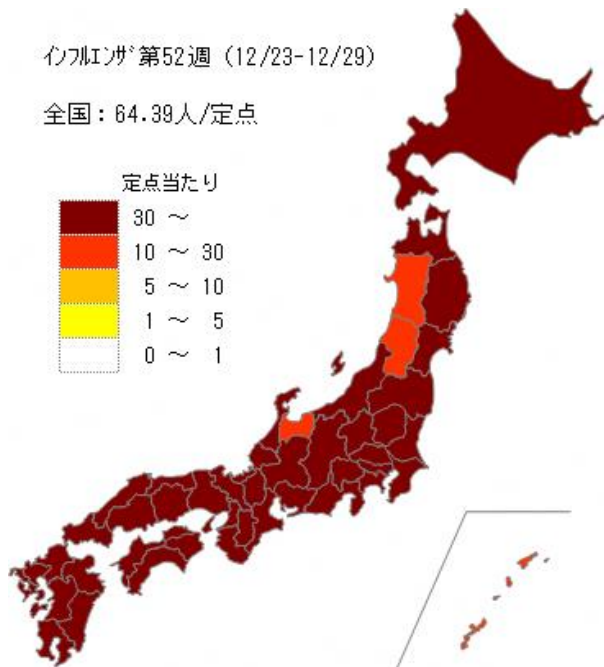
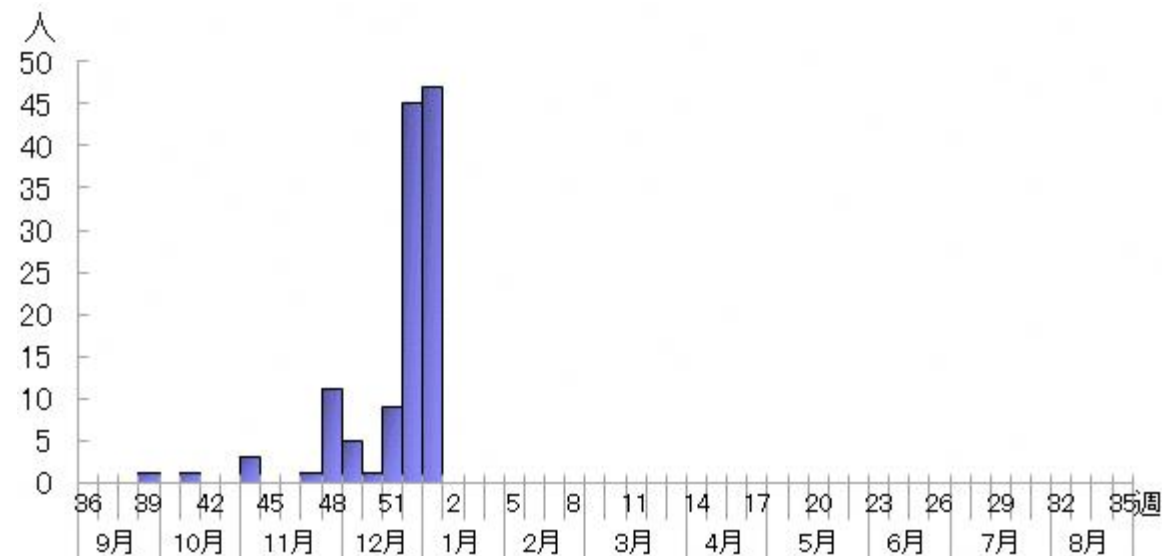


図5. インフルエンザ入院患者報告数(第1週)



- 全国では第52週に64.39人/定点となり、第51週（42.66）から増加した。都道府県別（図4）では、全ての都道府県で注意報レベルの基準である10人/定点を超えており、その内43都道府県で警報レベルの基準である30人/定点を超えている。
- 県内5か所の基幹定点医療機関を対象に実施するインフルエンザ入院サーベイランス（図5）では、今週47例（10歳未満:6例、20歳代:1例、40歳代:2例、50歳代、60歳代:各4例、70歳代:9例、80歳以上:21例）の報告があった。入院患者報告数は、先週から高いレベルで推移している。
- 新型コロナウイルス感染症と同様に患者報告数は先週から減少したものの、年末年始の定点医療機関の休診により、流行状況を過小評価している可能性がある。第1週はインフルエンザ様疾患による学級閉鎖等の報告がなく、冬休みの影響と考えられた（[富山県インフルエンザ関連情報](#)）。今後、学校や会社等の再開による市中での感染拡大が懸念され、引き続き発生動向を注視する必要がある。